

緑化センター みにがんど No.25

クリスマスの飾りに 欠かせない クリスマスホーリー



この季節、クリスマスが近くなると、街の通りや玄関先がライトアップされ、明るく・華やかにになります。クリスマス飾るリースなどに欠かせない樹といえば‘ホーリー’。冬も枯れない常緑の葉は邪気を払って「永遠」をもたらすもの、赤い果実は情熱や幸福を表すものという、信仰に由来します。これは、日本のお正月に、マツやナンテンを飾る慣習と同様ですね。

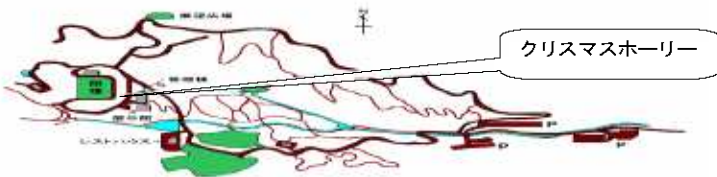
緑化センターでは、本館前の斜面にクリスマスホーリーが赤い実を付けています。

ホーリー モチノキ科

日本では一般に、モチノキ科モチノキ属のなかの下記の3種をホーリーと言っている。

- ①セイヨウヒイラギ（イングリッシュホーリー、クリスマスホーリー）
葉が比較的大きめで厚く、濃緑色で、葉の縁には小さな刺がたくさんある。
- ②アメリカヒイラギ（アメリカンホーリー）
セイヨウヒイラギに似ているが、比較的葉は薄く、つやがなく、やや小さくて刺がない。
- ③ヒイラギモチ（シナヒイラギ、チャイニーズホーリー）
光沢のある厚い葉が波状にねじれ、葉の先端と両側の上下に鋭い刺がある。
上記2種に比べ、樹高が低く、庭や鉢植えに利用される。
ヨーロッパでは、果実が赤又は黄色の熟す樹木の総称で、‘ホーリー’と呼んでいる。
また、同じように刺がある葉を持つヒイラギはモクセイ科、ヒイラギナンテンはメギ科の仲間で、分類上は異なる種です。

参考 MY-FLEUR「秋の山野草と樹木505種」 講談社等



コーヒーで一息入れませんか
緑化センター レストハウス